

食用植物油の流通状況

平成22年3月29日原料原産地表示に関する意見交換会日本植物油協会提出資料（一部修正）

植物油の原材料農産物と産地

油糧原料	主な産地（日本への主な供給国）
大豆（油）	アメリカ、ブラジル、アルゼンチン
菜種（油）	カナダ、オーストラリア、中国
とうもろこし	アメリカ、中国、ブラジル
米糠（油）	日本、タイ、ベトナム、インド、アメリカ
ごま（油）	中国、インド、ミャンマー、ナイジェリア、タンザニア、スーダン、グアテマラ
綿実（油）	アメリカ、オーストラリア
べに花油	アメリカ
オリブ油	イタリア、スペイン、ギリシャ、チュニジア
ひまわり油	アメリカ、ロシア、ウクライナ、アルゼンチン
パーム油	マレーシア、インドネシア
やし油	フィリピン

日本の植物油供給（平成21年、千トン）

	油の種類	国内で搾油	輸入した油	合計
種子から抽出	なたね油（カノーラ油）	929	14	943
	大豆油	477	36	513
	ごま油	42	2	44
	綿実油	4	3	7
	サフラワー油	-	12	12
	ひまわり油	-	17	17
	やし油	-	47	47
	パーム核油	-	70	70
	その他の油	2	47	49
副産物から抽出	コーン油	86	0	86
	こめ油	61	24	85
果肉から抽出	オリーブ油	-	35	35
	パーム油	-	551	551
	合計	1,601	858	2,459

【消費者庁注記】農林水産省油糧生産実績調査（平成21年確報版）によると 国内原料からの原油生産量は大豆 52t、なたね・からし386t、米ぬか 61,062tであり、種別国内搾油量に対する国産原料の比率は大豆0.00%、なたね・からし0.04%、米ぬか100%である。

植物油は二次加工品製品

植物油の製造は、次の2つの独立した工程（工場）に分かれる。主要生産国では、それぞれが独立した企業であることが一般的となっている。

